

令和5年度 地域課題対応事業評価シート(多摩区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	07	26	05	05	観光振興・タウンプロモーション推進事業			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			711700		まちづくり推進部地域振興課		三竹	66362	

事業の概要									
事業の概要		豊かな自然や特色ある文化施設といった多摩区の地域資源を活用し、区民や多摩区観光協会をはじめとする多様な主体との協働により、区の魅力をその内外に積極的に発信し、交流人口の増加を図りながら地域の活性化につながる取組を進め、住みよい賑わいと魅力あるまちづくりを推進します。							
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		賑わいと魅力あるまちづくり事業費	
		—		—					
地域の課題と現状		平成26年4月に3つの観光団体が統合され発足した多摩区観光協会が、より主体的かつ安定的に事業展開を行うことができるよう連携・支援しながら、参加と協働による区民主体の事業展開を進めていく必要があります。他局と連携する必要がある事業など、区民主体の多摩区観光協会では実現が難しい事業については、PR会社等の知見・人材を活用した事業展開を行っていく必要があります。							
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	13,082	12,767	13,238	12,881	0	0	0	0
	財源内訳								
	国庫支出金								
	市債								
	その他特財								
	一般財源	13,082	12,767	13,238	12,881				

計画 (Plan)	
事業の目的	区内の自然や文化施設等の観光資源や、地域団体・組織が実施している伝統芸能や催事など、特徴的な行事・イベントを区内外にアピールし集客効果の向上を図ります。また、区内の観光や商業、文化に関係する団体の関係者や市民と連携を図りながら、地域の活性化を図るため、賑わいと魅力あるまちづくりに寄与する取り組みを推進します。
今年度の事業の取組内容	【多摩区タウンプロモーション推進事業】・ピクニックタウン多摩区の推進・SNS、メディア等通じた多摩区魅力発信 【多摩区観光振興事業】・観光ガイドブック・ガイドマップ等作成、観光情報HP、登戸駅連絡通路バナー掲載等 ・地域イベントへの出店、ポスター作成等 ・観光ボランティアガイドによる各種ツアー

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等		観光ボランティアガイドについては、昨年を上回る計10回のツアーを実施したほか、多摩区観光協会自主事業である「わくわく周遊スタンプラリー」を実施するなど地域活性化、区の観光資源のPRを推進しました。また、タウンプロモーション推進事業として、地域資源を活用した謎解きイベントを実施したほか、多摩区SNSアンバサダーを任命し、区民による多摩区の魅力発信を行いました。区の魅力情報をメディアにアプローチした結果、広告換算で約3.6億円の効果がありました。								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位		
	1	活動指標	観光ガイドマップ・ガイドブック発行数	目標	60,000	60,000			部	
				実績	60000	60000				
	2	活動指標	観光ボランティアガイドのガイドツアー活動	目標	8	8			回	
				実績	7	10				
	3			目標						
実績										
4			目標							
			実績							

評価 (Check)									
事業を取り巻く社会環境の変化		豊かな自然環境や個性的な文化・教育施設郡、三大学といった地域資源に恵まれている一方で、区内人口の社会減、とりわけ子育て世代の流出が懸念されています。今後、区のイメージや地域ブランド力の向上を推進し、まちの魅力を高めることで交流人口の増加を図り、地域活力の維持につなげていく必要があります。							
事業の見直し・改善内容		■ 実施 (直近) R2 年度 □ 今後実施(年度から)							
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		タウンプロモーション推進事業について、平成25年度当初から令和元年度まで、まちづくり系のコンサルに業務を委託し、事業を行っていましたが、区のイメージアップ等まちの魅力発信をより効果的に行うために、令和2年度からはプロモーションの視点に重点を置くこととし、PR会社に業務を委託することとしています。							
評価項目						評価			
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか					a. 薄れていない b. 薄れている	a		
	評価の理由					多摩区民に愛着や誇りをもってもらう必要性や、区の魅力を区内外に発信し、区のブランド力を向上させる必要性はますます高まっています。			
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか					a. 上がっている b. 上がっていない	b		
	評価の理由					観光ガイドブック、マップは好評で、多くの方に多摩区の魅力を伝えるきっかけとなっています。一方、まだまだ多摩区の魅力が十分に伝わっていないことも事実であり、今後も様々な手段で発信していくことが必要だと考えています。			
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はある。					a. 可能性はない b. 可能性はある	b		
	評価の理由					観光協会については、より自主的な運営が図られるよう引き続き取り組んでまいります。また、タウンプロモーション事業についても、地域の様々な団体と連携し、より効果的プロモーションを実施できるよう目指してまいります。			

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	多摩区の魅力を区内外に広く伝えることは、区民が愛着や誇りをもって多摩区に住み続けていただくためにも重要で、また交流人口が増えることにより地域の活性化が期待できることから、今後も費用対効果や、区民の主体的な取組に結びつくよう配慮しつつ、積極的に取り組んでいく必要があります。

令和5年度 地域課題対応事業評価シート(多摩区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	07	26	05	10	音楽による区の魅力発信・地域交流創出事業			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			711700		まちづくり推進部地域振興課		三竹	66362	

事業の概要										
事業の概要		市の施策である「音楽のまち・かわさき」を多摩区でも推進するため、区民が音楽芸術に身近に触れる機会や、地域のアマチュア音楽家の発表の場を提供し、併せて多摩区の魅力をアピールすることを目的とした音楽事業を実施します。また、音楽を通じた区民同士のネットワークづくりを促すことにより、さらなる地域コミュニティの発展と地域の文化環境の向上と意識の醸成を目指します。								
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		賑わいと魅力あるまちづくり事業費				
		—	—							
地域の課題と現状		全市的に地域の方が主体となった音楽事業や音楽を取り入れたイベント等が多数行われている中、区として特色をもった事業展開が必要と考えます。多摩区ならではの豊かな自然資源や特色ある文化施設、大学などの人的資源を活用し、多様な主体とのコラボレーションを展開するなどして、地域を巻き込んだ音楽事業が求められています。								
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度		
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
	事業費	3,138	3,125	3,463	3,462	0	0	0	0	
	財源内訳	国庫支出金								
		市債								
その他特財 一般財源	3,138	3,125	3,463	3,462						

計画 (Plan)	
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> 多摩区の地域資源を活用し、音楽を通じて区の魅力のPRと地域への関心や愛着の醸成を図ります。 区民との協働により、地域のアマチュア音楽家の成果発表の場を提供するとともに、音楽を通じた区民の交流促進と地域の活性化を図ります。 区民にとって身近な区役所で良質かつ本格的な音楽を親しむ機会を提供します。
今年度の事業の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 第13回たま音楽祭の開催(多摩市民館大ホール、区役所1階アトリウム+後日ダイジェスト配信/年1回) たまアトリウムコンサート(会場:区役所1階アトリウム/年6回開催) ピクニックコンサート(区内/年1回)

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり		4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った			
取組内容の実績等		第13回たま音楽祭については、4年ぶりに事前申込無しの有観客で行い、アーティストによる演奏のほか各種企画を実施しました。たまアトリウムコンサートについては昨年を上回る6回実施し、うち1回は同時期に開催されていた「かわさきジャズ」にちなみ、ジャズコンサートとして開催しました。ピクニックコンサートについては、昨年までの開催場所を見直し、登戸区画整理事務所が開催するハレノヒと同時開催としました。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位	
	1	成果指標	ピクニックコンサートの来場者数	目標	1,200	1,200			人
				実績	2,700	10,000			
	2	成果指標	たま音楽祭の出演者数	目標	15	15			組
				実績	14	15			
3	成果指標	たま音楽祭の来場者数	目標	900	900			人	
			実績	800	1,200				
4	成果指標	たまアトリウムコンサートの来場者数	目標	500	500			人	
			実績	400	600				

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		区が単独で事業を実施するのではなく、音楽関係者をはじめ、区民や大学生、商店街、企業、施設管理者など多様な主体とコラボレーションし、それぞれの特徴・強みを生かした事業展開を行う必要があります。	
事業の見直し・改善内容		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) <input type="checkbox"/> R5 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		ピクニックコンサートについては、これまで生田緑地を会場として開催してきましたが、よりニーズに沿った開催方法を検討し、新たに登戸区画整理事務所と連携し、「ハレノヒ」イベントと同日に登戸地区で開催しました。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	区の魅力のPRと地域への関心や愛着の醸成、区民の交流促進と地域の活性化を図ることは重要とされるところであり、その一つのアプローチとして音楽事業を推進しており	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	天候等により、来場者数等には変動があるものの、来場者からは好評を受けています。今年度実施した際の反省点等も踏まえ、今後も一層の周知等を図ってまいります。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	これまでも、契約方法の改善等を行ってきたところですが、今後も仕様の見直しなどに取り組み、効率的・効果的な成果を得られるよう事務改善の工夫を引き続き図ってまいります。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性		
区民のニーズに合わせた音楽事業がより一層推進されるよう、新たな実施手法の検討、地域性を前面に押し出したプログラムの工夫など、地域の多様な主体との連携を図りながら、引き続き事業推進してまいります。		

令和5年度 地域課題対応事業評価シート(多摩区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	07	26	05	15	多摩区スポーツ推進事業			
担当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			711700		まちづくり推進部地域振興課			今川	66361

事業の概要										
事業の概要		多摩区の新たな地域資源Anker フロンタウン生田の事業者・川崎フロンターレとの連携事業、多摩区スポーツフェスタを実施することにより、地域の特色を生かし区民が身近にスポーツに親しむことができる環境づくりに取り組み、スポーツ活動を通じた地域住民の交流、地域の活性化を図ります。								
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	市民自治を進めるまちづくり事業費					
		—	—							
地域の課題と現状		多摩区内のスポーツ活動は各地区(稲田・生田)の活動が主ですが、多摩区スポーツセンターなどを活用し、多摩区全体でのスポーツ活動を通じて、住民同士の交流や身近にスポーツに親しむことができる環境づくりに取り組むことが求められます。また、令和5年に新たな地域資源Anker フロンタウン生田が供用開始となったことを契機とし、スポーツを通じた地域の活性化をこれまで以上に推進していくことが求められます。								
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度		
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
	事業費	国庫支出金	1383	795	2,399	2,058				
		市債								
財源内訳	その他特財									
	一般財源	1383	795	2,399	2,058					

計画 (Plan)	
事業の目的	誰もが安心して参加でき、気軽にスポーツに親しむ・楽しむ機会を提供し、優れたスポーツ選手との交流などを通じて、区民のスポーツへの関心を高め、スポーツを通じた地域住民の交流促進と地域の活性化、魅力あるまちづくりを進めることを目的とします。
今年度の事業の取組内容	これまでの実績を踏まえ開催種目を検討し、多摩区スポーツフェスタを開催します。また、Anker フロンタウン生田の事業者・川崎フロンターレと連携し、Anker フロンタウン生田等を活用した教室事業やスポーツ体験会を実施します。

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度	3		1. 目標を大きく上回って達成 4. 目標を下回った 2. 目標を上回って達成 5. 目標を大きく下回った 3. ほぼ目標どおり						
取組内容の実績等	第11回多摩区スポーツフェスタではパラリンピック種目でもあるゴールボール体験をはじめ、23種目29体験教室を実施、2,210人が参加しました。Anker フロンタウン生田との連携事業では、川崎フロンターレのノウハウを生かし世代ごとに対象を絞った教室事業やスポーツ体験会、スポーツイベントを実施しました。								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1 活動指標	多摩区スポーツフェスタの開催数			目標 1	1			回
					実績 1	1			
	2 成果指標	多摩区スポーツフェスタの参加者			目標 2500	2500			人
					実績 1035	2210			
	3				目標				
			実績						
4				目標					
				実績					

評価 (Check)	
事業を取り巻く社会環境の変化	新型コロナウイルスが5類に分類されたことに伴い、各種イベント等の制限等は無くなったが、感染症対策などをしながら安全な開催について、引き続き配慮する必要があります。
事業の見直し・改善内容	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から) 具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載 令和5年度は5年ぶりに人数等の制限を撤廃し、多摩区スポーツフェスタを開催しました。

評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	スポーツをする場や交流を求めるニーズは高いものと思われます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	b
	評価の理由	ここ数年は新型コロナウイルスの影響を受け、成果指標は右肩上がりとはなっていませんが、昨年度は制限を設けずにイベントを開催することができました。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	地域の実情に精通した委員の活動や民間企業の協力などにより効率的な事業運営に努めていますが、直接経費としてトッパスリストを講師として招くことや障がい者スポーツの実施などに一定の金額を要するため、経費削減は難しいものと考えています。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I
		事業目的としている地域資源の活用、スポーツ選手との交流、地域住民同士の交流を達成するため、今後も継続して事業を実施していきます。

令和5年度 地域課題対応事業評価シート(多摩区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	07	26	05	20	登戸・向ヶ丘遊園駅周辺賑わい継承事業			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			711650		まちづくり推進部企画課		高岩	66124	

事業の概要									
事業の概要		登戸区画整理事業や生田緑地整備の進展に伴い、大きく変貌する地区の状況を踏まえ、多摩区の中心市街地である登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区の賑わいを引き継ぐとともに、多摩区の主要な地域資源であり観光資源でもある生田緑地及び生田3館等との回遊性を向上させることで、魅力あるまちづくりや観光集客の向上に取り組めます。							
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		賑わいと魅力あるまちづくり事業	
		—		—					
地域の課題と現状		区画整理事業の長期化によりまちの賑わいの低下が懸念されており、刻々と変わりゆくまちの姿を後世に伝え、引き継ぎ、賑わいを継承させるとともに、多摩区の地域資源である生田緑地や生田3館と連携し、まちの回遊性向上や賑わい創出に取り組む必要があります。							
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	686	685	649	649				
	財源内訳								
	国庫支出金								
	市債								
	その他特財								
	一般財源	686	685	649	649				

計画 (Plan)	
事業の目的	登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区の賑わいを引き継ぎ、まちの回遊性を向上させる等、さらに発展させることで、魅力あるまちづくりや観光集客の向上を図ります。
今年度の事業の取組内容	登戸・向ヶ丘遊園のまちと生田緑地等へのアクセス経路で、ARシステムを利用したまちの回遊性向上の取組を実施します。(ARスポットでスマートフォンのカメラでQRコードを読み込むことで、ARのキャラクターと一緒に写真が撮れる等の取組)

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等		登戸・向ヶ丘遊園のまちと生田緑地等へのアクセス経路で、ARシステムを利用した、まちの回遊性向上の取組「たまくdeAR!」(ARスポットでスマートフォンのカメラでQRコードを読み込むことでARのキャラクターと一緒に写真が撮れる等の取組)を実施しました。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1	成果指標	AR利用アクセス数	目標	4,000	4,000			回
				実績	8,719	8,193			
	2			目標					
				実績					
	3			目標					
実績									
4			目標						
			実績						

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		区画整理事業の駅前地区の整備実施で、商店街の賑わい低下等の危惧に対し、地域主体の自発的な取組が求められています。小田急線登戸駅の快速急行停車や北口改札の設置等の交通利便性の向上が図られ、登戸駅前地区の区画整理事業が進展し事業の完了が見込まれています。	
事業の見直し・改善内容		■ 実施 (直近) 1 年度 □ 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		写真アーカイブ事業を、ARシステムを利用したまちの回遊性向上の取組に移行し実施することで、賑わいの継承の他、街の回遊性及び観光集客の向上を図り、まちの賑わいや魅力あるまちづくりの創出に取り組まれました。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	区画整理事業の推進等によるまちの変化に適切に対応するため、地域の賑わい継承及び創出については引き続きニーズがあると考えます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	AR利用アクセス数については、年度ごとのばらつきはあるものの順調に推移しています。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性があるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	経費削減の余地はありませんが、仕様の見直しなどにより事務改善の可能性はあります。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性		
登戸・向ヶ丘遊園駅周辺における交通利便性の向上や区画整理事業の進展など変化し続けるまちの状況を適切に捉え、AR等の取組を継続・更新し賑わいの継承や回遊性を向上させることで、まちの魅力向上を図っていく必要があります。		

令和5年度 地域課題対応事業評価シート(多摩区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	07	26	05	25	多摩区エコロジーライフ事業			
担当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			711650		まちづくり推進部企画課			高岩	66124

事業の概要									
事業の概要		多様な主体と協働・連携し、子どもたちを対象にした環境学習を目的とした取り組み、使用済みてんぷら油の回収等を行い、家庭など身近なところで行える取組や資源循環型社会構築の取組への普及啓発、区民の環境意識の向上を図ることにより、地球規模で広がる温暖化の防止につなげていきます。							
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		賑わいと魅力あるまちづくり事業	
		平成24年度		—					
地域の課題と現状		<ul style="list-style-type: none"> ●多様な主体(区民、市民活動団体、企業、大学等)と連携しながら、活動の輪を広げていく必要があります。 ●それぞれの取組に工夫や変化を加えながら事業を展開し、広がりを持たせていく必要があります。 							
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	480	331	481	463				
	財源内訳								
	国庫支出金								
	市債								
	その他特財								
	一般財源	480	331	481	463				

計画 (Plan)	
事業の目的	地球温暖化防止のため、区民の環境に対する意識が高まり、環境に配慮した生活を送れるようにします。
今年度の事業の取組内容	●主に小学生を対象とした環境学習・啓発を目的とした取り組み(多摩区エコフェスタの開催)、●市民活動団体と協働し、使用済みてんぷら油を回収、●区におけるエコに関する取組内容の可視化

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等		・多摩区を中心に活動する市民活動団体等と連携し、環境学習イベント「多摩区エコフェスタ」をAnker フロンタウン生田にて開催。また、Webで小学生向けの学習体験プログラムとしてエコに関する取組みなどを紹介した。 ・ゴーヤの種子配布や使用済みてんぷら油の回収を実施しました。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1	活動指標	環境学習イベントの実施回数	目標	1	1			回
				実績	1	1			
	2	活動指標	環境学習イベントの参加者	目標	250	250			人
				実績	250	300			
	3	活動指標	ゴーヤの種子配布	目標	250	250			袋
実績				250	250				
4			目標						
			実績						

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		「かわさきカーボンゼロチャレンジ2050」が国の脱炭素社会を目指す宣言を受け2020年11月に策定されるなど、地球規模の温暖化の進展に伴い、より一層の地球温暖化防止対策が求められています。	
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載			
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	地球規模で広がる温暖化の防止に向け、継続的に区民の環境意識の向上を図っていく必要があると考えられます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	令和5年度はAnker フロンタウン生田を会場としてエコフェスタを開催し、市民団体や大学、企業等との連携のもと、様々な体験プログラムや工作教室、パネル展示等の実施、Webによる情報発信を行うことにより、一定の成果があったと考えられます。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	多様な主体との連携を更に広げていくことにより、より効果的な事業展開を検討する余地があると考えます。	

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	地球規模の温暖化の進展に伴い、より一層の環境対策が求められており、また、SDGsの取組に関する急激な意識の高まりが生じていることなどから、社会環境の変化を的確に捉えながら、事業の見直し・改善のうえ継続していくことが必要となります。

令和5年度 地域課題対応事業評価シート(多摩区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称				
款	項	目	大	中	小					
11	01	07	26	05	30	水辺の愛護活動事業				
担当			所属コード			所属名			担当者	連絡先
			711700			まちづくり推進部地域振興課			瀬戸	66352

事業の概要									
事業の概要		市内はもとより、他都市からも多くの人が訪れる歴史的な環境資源であるニケ領用水の環境を、地域の町内会・自治会が主体的に維持し、水辺の空間づくりに寄与する活動に対し、支援を行います。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		賑わいと魅力あるまちづくり事業			
		—	—						
地域の課題と現状		ニケ領用水周辺の町内会・自治会の方々により緑豊かな水辺の空間づくりが進められ、美しい環境が作られています。これを維持するためには、継続した支援が必要となります。							
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	121	55	123	99				
	財源内訳								
	国庫支出金								
	市債								
	その他特財								
	一般財源	121	55	123	99				

計画 (Plan)	
事業の目的	町内会・自治会の河川愛護活動を支援し、水辺の環境美化を推進します。
今年度の事業の取組内容	清掃用具の提供を行います。

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等		ニケ領用水周辺の町内会・自治会に、必要な清掃用具の提供を行いました。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1	活動指標	支援町内会・自治会数	目標	4	4			団体
				実績	4	4			
	2			目標					
				実績					
	3			目標					
				実績					
	4			目標					
実績									

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		新型コロナウイルス感染症が5類に移行となったため、清掃活動もコロナ禍前同様に戻りつつあり、地域資源として、ニケ領用水周辺の環境保護意識の醸成を推進しています。	
事業の見直し・改善内容		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) H29年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		他の美化活動の状況や、参加者の負担等を考慮し、当該地域の町内会自治会を支援するよう見直しを行いました。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	ニケ領用水の環境保護に特化した美化活動は他にないため、参加している町内会自治会が、よりニケ領用水に親しみを覚える事業となっています。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	b
	評価の理由	コロナ禍の影響により、令和2年度から清掃活動を行う町内会自治会が減少しています。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	平成29年度に支援方法の見直しを行ったため、現状の形で支援を継続し、コロナ禍より申請を行っていない町内会自治会への声掛けも検討していきます。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性		
ニケ領用水周辺の清掃活動を行っている町内会・自治会の意見を参考に、環境保護活動を支援していきます。		

令和5年度 地域課題対応事業評価シート(多摩区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	07	26	05	40	多摩川環境啓発展示事業			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			711700		まちづくり推進部地域振興課		三竹	66362	

事業の概要									
事業の概要		多摩川に生息する淡水魚等を多摩区総合庁舎1階アトリウムで飼育展示し、「水と緑と学びのまち 多摩区」の象徴である多摩川をより身近に感じてもらい、区役所を誰もが気軽に立ち寄れる安らぎと潤いのある場所とするとともに、来庁する区民に多摩川への愛着と自然環境に対する意識の向上を図ります。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		賑わいと魅力あるまちづくり事業費			
		—	—						
地域の課題と現状		多摩川に生息する生き物を庁舎内に展示することは、良好な自然を次世代に継承していく意識を育み、郷土に対する愛着や連帯意識を醸成するためにも重要です。親子連れや散歩中の保育園児が区役所に立ち寄り、水槽を覗いている姿が日常的に見られます。ミニ水槽が多摩区の自然に対する区民の理解を深め、行政施設を身近に感じられるきっかけになっていることから、継続して実施していく必要があります。							
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	338	330	332	291	0	0	0	0
財源内訳	国庫支出金								
	市債								
	その他特財								
	一般財源	338	330	332	291				

計画 (Plan)	
事業の目的	多摩川に生息する魚類等を、区民にとって身近な区役所の庁舎内で展示することにより、あらゆる世代に対し、多摩川の自然環境に対する意識や愛着の向上を図ります。
今年度の事業の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 多摩川に生息する淡水魚等を飼育管理し、多摩川を身近に親しむ機会を提供します。 多摩川のことを知り愛着を深めてもらうためのわかりやすい展示に取組みます。

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等		年間を通じて魚類の展示を行ったほか、季節ごとに展示内容に変化を持たせ、展示中の魚類の写真や解説を掲出するなど、多摩川に興味や好奇心を持ってもらえるような取組を行いました。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1	活動指標	展示の差し替え	目標	4	6			回
				実績	7	6			
	2			目標					
				実績					
3			目標						
			実績						
4			目標						
			実績						

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		恵まれた自然環境を次世代に継承していく意識を育み、郷土に対する愛着や連帯意識を醸成する、自然と調和した潤いのあるまちづくりに取り組む必要があります。	
事業の見直し・改善内容		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 1 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		水槽の劣化に伴い、水槽2基のリニューアルを行いました。リニューアルにあたっては、安全性に配慮しつつ、季節ごとに展示内容に変化を持たせ、展示中の魚類の写真や解説を掲出するなど、興味や好奇心を持ってもらえるよう実施しました。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	区役所1階に展示することによって、多くの方が身近な自然に親しみきっかけとなっています。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	季節に応じた水槽内のレイアウト変更や飼育魚の変更により、季節毎の多摩川の変化を演出し、多摩川への理解を深めています。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性があるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	魚類及び水槽の維持・管理等に関する業務を見積合せにより適正に執行しています。新規業者の開拓等、引き続き経費節減に向けて取り組んでいきます。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性		
引き続き事業を推進し、より多くの方に多摩川に住み生き物を身近に感じてもらい、多摩川の魅力を再認識していただけるよう取組んでいきます。		

令和5年度 地域課題対応事業評価シート(多摩区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	07	26	05	45	多摩まちかど祭開催事業			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			711700		まちづくり推進部地域振興課		三竹	66362	

事業の概要									
事業の概要		区民相互のふれあいと地域の活性化を目指して、区民一人ひとりが部隊運営の担い手となれるステージを区民祭の会場の一部で開催することで、心温かい地域コミュニティの形成に役立ちます。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	市民自治を進めるまちづくり事業費				
地域の課題と現状		地域に根差したより身近な場所において舞台公演を行うことにより区民に文化芸術の発信、交流、鑑賞の場を提供し、地域コミュニティの形成に役立っています。そのため、毎年様々な団体から出演希望がある一方、当日のステージで発表を行う時間には限りがあり、発表時間確保のため舞台運営の工夫が求められます。							
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	1200	1055	1,243	1,033				
	財源内訳								
	国庫支出金								
	市債								
	その他特財								
	一般財源	1200	1055	1,243	1,033				

計画 (Plan)	
事業の目的	文化、芸術活動を営む区民に、日頃の成果発表の場を提供し、より豊かな文化の創造に寄与します。また、区民同士の交流を深めるため区民一人ひとりが舞台での発表者となるステージショーである多摩まちかど祭を、多摩区民祭と同時に開催することで、心温かい地域コミュニティの形成を図ります。
今年度の事業の取組内容	令和5年10月開催予定の区民祭の会場にてステージを設置し、催しを行うことで、多くの参加者に出演の機会を提供するとともに、さまざまな演目の出演により、豊かな文化の創造の一助とします。

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等		多摩区民祭と併せて区民祭会場内にステージを設置して開催しました。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1	成果指標	参加団体数	目標	20	20			団体
				実績	18	19			
	2			目標					
				実績					
	3			目標					
				実績					
	4			目標					
実績									

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		文化・芸術活動を発表する場の充実が求められています。	
事業の見直し・改善内容		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 28、30年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		H28参加団体の出演時間や調整等を綿密に行い、より多くの区民の参加が見込める運営方法を図っています。 H30業務委託について、実行委員会との1社特名随契から、登録業者との契約に変更しました。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	毎年多くの団体から問合せや出演希望が寄せられており、依然ニーズは高いものと考えます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	区民参加型の文化発信事業の一つとして定着しており、限られた時間等の条件はありますが、今後も参加希望は増加傾向にあると考えます。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性があるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	設営費・人件費等の高騰に対する仕様の変更や区民の満足度向上のための運営方法については毎年検討を行っています。今後も効率的・効果的な成果を獲得できるよう事務改善の工夫を引き続き図っていきます。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性		
限られた予算、会場の中でより参加者が楽しみ、交流を深められるよう今後も事業を継続していきます。		

令和5年度 地域課題対応事業評価シート(多摩区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	17	26	05	50	区民祭開催経費			
担当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			711700		まちづくり推進部地域振興課			瀬戸	66352

事業の概要									
事業の概要		区民祭において、区内で活動している団体が活動等をPRするなどのために出店・展示の場を提供し、地域の魅力発信と区民同士のつながりを推進します。また、地域に根ざした身近な場所において開催することにより、都市化で失われがちな郷土意識を呼び起こし、区民が自分の住む地域に愛着と誇りを持てるようになります。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	賑わいと魅力あるまちづくり事業費				
		—	—						
地域の課題と現状		区民意識アンケートを見ると、区への愛着や誇りを表すシビックプライド指標が下がっているのが現状です。また、高齢化も進み、今後、ますます地域コミュニティづくりが大切になります。							
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	201	201	201	201				
	財源内訳	国庫支出金							
		市債							
	その他特財								
	一般財源	201	201	201	201				

計画 (Plan)	
事業の目的	区民一人ひとりが担い手となる祭を通して、心温かい地域コミュニティをつくり、暮らしやすい快適なまちづくりの推進ができるよう区民祭の開催を支援します。
今年度の事業の取組内容	主催者に対して補助金を支出します。

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等		新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、コロナ禍前の規模に戻して開催しました。また、翌年に全国都市緑化かわさきフェアの開催を控えているため、来場者数の増加を見込み、臨時駐輪場の開設をはじめとして、安全な開催に努めました。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1	活動指標	来場者数	目標	60,000	60,000			人
				実績	68,000	64,000			
	2			目標					
				実績					
3			目標						
			実績						
4			目標						
			実績						

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		高齢化に伴い、収入の大部分である協賛金や委員の担い手の減少が進んでおり、継続開催のため、資金及び体制の見直しが必要と思われます。	
事業の見直し・改善内容		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 5 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		今後の資金難が懸念されており、警備体制等の仕様を見直し、支出を抑えました。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	多摩区民祭を通じた地域コミュニティの促進を期待する声が多く、区民祭の開催意義は高いと考えられます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	b
	評価の理由	天候の影響が大きく、来場者数は昨年より減少していますが、区民の認知度も高く概ね問題はないと考えます。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性があるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	実行委員会を中心に事業を実施していますが、役割分担等を見直す方向で事務改善の可能性があります。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性		
多摩区の特徴を活かし、多摩区民の交流の場として、安全な開催に向けての協議、検討を行っていきます。		

令和5年度 地域課題対応事業評価シート(多摩区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	07	26	10	05	市民防災活動支援事業			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			710000		危機管理担当		芦館	66354	

事業の概要										
事業の概要		多摩区地域防災計画では、区民の防災時の基本的責務として「自らの身の安全は自らが守る」としており、区民に対する地震や風水害等に関する知識の習得に努め、市や区が実施する防災に関する事業に積極的に参加し、防災体制の強化に寄与することを求めています。そのために、地域の防災活動の中心的役割を担う、自主防災組織の育成と区民の防災意識の向上を図るため、防災フェア、防災キャンプ等を実施します。								
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		安全・安心まちづくり事業費		
		—		—						
地域の課題と現状		区民の防災への関心は依然として高いが、災害を自分事としてとらえる意識が進んでいない状況である。また、多くの自主防災組織や避難所運営会議で訓練等を実施していますが、地域によって取組の内容に差が生じています。また、役員の高齢化や参加者の固定化が起きています。								
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度		
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
	事業費	1398	1351	1,789	1,536					
	財源内訳									
	国庫支出金									
	市債									
	その他特財									
	一般財源	1398	1351	1,789	1,536					

計画 (Plan)	
事業の目的	大地震や風水害、土砂災害に備えて役立つ防災用品を紹介・展示し、日頃からの備えを促す機会を設けます。また、体験コーナー等の充実により、防災知識の習得による自助と共助を醸成し、災害に強いまちづくりの推進を図ります。
今年度の事業の取組内容	地域の防災意識向上のための防災フェアの開催、次世代の防災リーダーのための防災キャンプの開催

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度		4		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等		・防災フェアをAnkerフロントタウン生田で開催し、防災啓発活動を行った。(参加者200名) ・防災キャンプを多摩川せせらぎ館で開催した。(参加者40名)								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標				R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1	成果指標	防災フェア参加者数	目標	500	500				人
				実績	360	200				
	2	活動指標	防災キャンプ	目標	1	1				回
				実績	1	1				
	3			目標						
実績										
4			目標							
			実績							

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		コロナ禍を踏まえた避難所の運営について課題となっています。	
事業の見直し・改善内容		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 5 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことから、防災キャンプをリモート開催から現地開催に変更しました。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	令和元年東日本台風における被害や全国で発生している地震等、区民の防災対策への関心は高い。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	b
	評価の理由	防災フェアは、開催日の天候が悪かったため、目標値を下回っているが、令和元年東日本台風や能登半島地震などの影響により防災への関心は依然と高い。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性があるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	関係部署や団体、委託業者等と協議を行い、役割分担の見直し等による改善を進めていきます。	

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I	令和元年東日本台風や全国で発生している地震等、多くの区民にとって防災対策への関心は高まっています。地域住民が主体的に地域を守るため、防災意識の向上と知識の蓄積が必要であることから、多くの区民や自主防災組織を対象とした取組を継続していくことが適切と考えます。

令和5年度 地域課題対応事業評価シート(多摩区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	07	26	10	10	多摩区危機管理事業			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			710000		危機管理担当		芦館	66354	

事業の概要									
事業の概要		災害時の被害を少しでも減らすには、最前線に対応する区本部的な対応や活動が重要となります。職員の防災意識と対応力の向上に向けて、各種研修・訓練を実施することで、区本部的な機能強化を行います。また、災害時の区内の被害を軽減するために、多摩区防災連絡会議(医療部会、帰宅困難者部会)等を通して、地域の関係機関との取組の強化と情報の共有を行い、区全体の危機管理機能の向上を目指します。その他、災害時に重要な拠点となる区本部において、的確で迅速な災害対応を行うために必要な物品等を配置します。							
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		安全・安心まちづくり事業費	
地域の課題と現状		近年発生した災害では、避難所の運営業務や救援物資の供給など、行政の災害対応力が課題として浮き彫りになりました。多摩区役所では、災害対応を経験した職員が少なくなっており、災害に対するスムーズな対応力の向上が求められています。							
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	1649	1507	613	222				
	財源内訳								
	国庫支出金								
	市債								
	その他特財								
	一般財源	1649	1507	613	222				

計画 (Plan)	
事業の目的	多摩区役所職員への実践的な研修と訓練を通じ、多摩区役所での防災意識の醸成や初動体制の構築に向けた、防災力向上に取り組みます。
今年度の事業の取組内容	職員を対象とした基礎防災研修、区本部訓練等の実施

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等		職員を対象とした基礎防災研修、区本部訓練の実施							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1	活動指標	情報伝達研修	目標	1	1			回
				実績	1	1			
	2	活動指標	防災力向上研修	目標	1	1			回
				実績	1	1			
	3			目標					
実績									
4			目標						
			実績						

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		気候変動等により、暴風、豪雨、洪水、土砂災害等が毎年のように発生し、自然災害のリスクは高まっており、災害時の対応力を向上させる必要があります。	
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載			
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	災害時の対応力を向上させるために、事業の必要性は高い。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	防災研修の開催により、職員の防災意識が高まっています。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性があるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	職員の防災意識と対応力の向上に向け、より効率的・効果的な手法で各種研修・訓練を実施し、区本部的な機能強化を行います。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性 多摩区役所の災害対応能力を向上させていくためには、あらゆる災害対応を想定して準備を進めていく必要があります。各課が日常業務から災害対応を念頭に置き、災害初動対応をスムーズに行うためにも、区役所全体として総合的に防災対策を推進する体制を整備していく必要があります。そのため、事業の見直しを図りながら継続することが適切と考えます。		

令和5年度 地域課題対応事業評価シート(多摩区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	07	26	10	15	多摩区安全・安心まちづくり推進事業			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			710000		危機管理担当		山川	66353	

事業の概要									
事業の概要		区民、地域、警察、消防、行政が連携し、防犯、防火、交通安全、放置自転車対策等に取り組む推進体制を整備し、地域の抱える課題の早期発見、解決を図り、安全・安心な地域生活環境づくりを推進します。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		安全・安心まちづくり事業費			
		—	—						
地域の課題と現状		防犯対策や交通安全対策は市民アンケートで力を入れていくべき施策の上位であり、安全・安心なまちづくりの推進が求められています。振り込め詐欺等の犯罪被害を防ぐため、継続的な対策が求められています。また、子どもの安全確保を図るため、関係団体が連携し取組を進めていく必要があります。							
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	1223	1062	1,362	1,028				
財源内訳	国庫支出金								
	市債								
	その他特財 一般財源	1223	1062	1,362	1,028				

計画 (Plan)	
事業の目的	区民、地域、警察、消防、行政が連携し推進体制を整備することで、地域の問題を地域住民で解決する自助意識の高揚を図り、安全・安心な地域生活環境づくりを推進します。
今年度の事業の取組内容	地域防犯活動の支援のための防犯パトロール用品の貸与、防犯意識向上のための青色回転灯装備車両による防犯パトロールの計画的実施、交通安全啓発のための関係団体との各季の交通安全運動の実施、多摩区安全・安心まちづくり推進協議会の構成メンバーによる情報共有

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等		地域防犯活動支援として、ベスト9着(2団体)、のぼり旗240枚(31団体)、ボール73本(14団体)、帽子21個(4団体)を貸与。保育園、小学校等における交通安全教室を95回実施。春の全国交通安全運動等の各季の交通安全キャンペーンを実施。多摩区子ども見守りの日パトロール等の各種パトロールを実施。防犯・防火・交通安全及び放置自転車に関する普及・啓発をテーマとした安全・安心フェスタを実施。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1	成果指標	安全・安心フェスタの実施(参加者) ※R4実績は講演会参加者	目標	450	450			人
				実績	48	200			
	2			目標					
				実績					
	3			目標					
実績									
4			目標						
			実績						

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		振り込め詐欺など特殊詐欺の被害が増加傾向にあり、新たな犯罪手法も表れていることから、継続的な防犯対策が求められています。	
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載			
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	新たな手法の犯罪も発生しており、事業の必要性は高いと考えられます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	b
	評価の理由	安全・安心フェスタの開催地を昨年度オープンしたAnkerフロントウイング生田にしたり、交通安全教育車「ゆとり号」を警察本部から派遣してもらった等、区民の方により関心を持っていただくための対応を行ったが、実施日である令和6年2月4日があいにくの荒天のため来場者は目標値に達しなかった。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	安全で安心なまちづくりの推進に向けて防犯、交通安全対策等の分野ごとでなく、高齢者、子どもなど、対象ごとに総合的な推進が図れるような事業の見直しを検討していく必要があります。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II 安全で安心して暮らせるまちづくりを推進していくためには、防犯、防火、交通安全、放置自転車等の個々の問題に当たる関係機関や地域住民が連携し、総合的に課題解決を図る推進体制を整備していくことが重要です。地域の抱える課題の早期発見、解決を図るため、事業の見直しを図りながら継続することが適切と考えます。

令和5年度 地域課題対応事業評価シート(多摩区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	07	26	10	20	自転車利用マナーアップ促進事業			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			710000		危機管理担当		山川	66353	

事業の概要									
事業の概要		スクエアドストレート方式交通安全教室の実施や交通安全標語による啓発を行い、自転車交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を区民に習慣づけます。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		安全・安心まちづくり事業費			
		—	—						
地域の課題と現状		区内の交通事故件数は減少傾向にあるものの、自転車事故については、多摩区は、平成24年から平成30年まで、及び令和2年から5年まで、神奈川県「自転車事故多発地域」に指定されており、依然として自転車事故の割合が高い状態が続いています。							
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	1020	399	1,065	457				
	財源内訳	国庫支出金							
		市債							
		その他特財							
		一般財源	1020	399	1,065	457			

計画 (Plan)	
事業の目的	自転車交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を区民に習慣づけます。
今年度の事業の取組内容	スクエアドストレート方式交通安全教室の実施、小学校3年生児童を対象とした交通安全標語の募集及び優秀作品を使用した啓発活動、令和3年度から、区内の保育園・幼稚園・高等学校・大学へ自転車マナーアップチラシ・ポスターの配布

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度		3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った							
取組内容の実績等		スクエアドストレート方式交通安全教室を1回実施しました。(5/2日中は実施直前に生徒が交通事故に遭ったため中止。5/25管中は実施。10/7多摩高は雨天のため中止し講話に変更。) 交通安全標語を小学校3年生から募集し、優秀作品の看板を各学校通学路に設置しました。 5月自転車利用マナーアップ強化月間に区内の保育園・高等学校・大学等へ自転車マナーアップチラシの配布しました。								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標				R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1 成果指標	スクエアドストレート方式交通安全教室の実施回数	目標	3	3					回
			実績	1	1					
	2 成果指標	交通安全標語の応募者数	目標	1100	1100					人
			実績	1201	1136					
				目標						
			実績							

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		平成24年から「自転車事故多発地域」に指定されており、令和元年に指定から外れましたが、令和2年から再び指定され、依然として自転車事故の割合が高い状態が続いていることから、自転車交通ルールとマナーの啓発については継続して実施していく必要があります。	
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載			
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	自転車事故の割合は高止まりを続けていることから、事業のニーズは高いと考えられます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	各事業について、一定数以上の参加が得られています。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	多摩区は自転車事故の割合が高いことから、スクエアドストレート方式交通安全教室の実施や交通安全標語の募集のほかにも有効な対策が見つかれば、既存事業を見直す可能性もあります。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性 多摩区における自転車事故の割合は高止まりを続け、「自転車事故多発地域」に指定されている状況から、自転車事故への対策は継続して実施していく必要があります。地域住民ヘルールとマナーの周知を図り事故件数を減らしていくために、引き続き事業内容の見直しを行いながら継続することが適切であると考えます。		

令和5年度 地域課題対応事業評価シート(多摩区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	07	26	10	25	多摩区環境衛生推進事業			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			715300		地域まみもり支援センター衛生課		佐藤	66564	

事業の概要

事業の概要		住居環境の改善を支援し、心と体の調和のとれた快適な暮らしの実現を図る「住まいと住まい方」を推進する。また、学校・地域・家庭へ動物愛護思想を浸透させ、人と動物の調和のとれた共生社会の実現を図る。							
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		安全・安心まちづくり事業	
		平成27年度		—					
地域の課題と現状		平成26年度に多頭飼育問題が相次いで発覚し、平成27年度から動物愛護推進事業として開始しています。社会の高齢化に伴い、認知症や介護をとりまく高齢者とペットの課題などが発生しています。また、広い一軒家に独立した子どもの物品や使用していない物品が多くある状態で高齢者が一人で居住している状況があります。							
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	140	128	475	389				
	財源内訳								
	国庫支出金								
	市債								
	その他特財								
	一般財源	140	128	475	389				

計画 (Plan)

事業の目的	住居環境の改善を支援し、心と体の調和のとれた快適な暮らしの実現を図る「住まいと住まい方」全般を推進する。また、学校・地域・家庭へ動物愛護思想を浸透させ、人と動物の調和のとれた共生社会の実現を図る。
今年度の事業の取組内容	<ol style="list-style-type: none"> 「自宅で快適に暮らせる「住まいと住まい方」整理収納ガイドブックの作成。 片付けコラムの多摩区役所HPへの掲載。 安心して暮らせる「住まいと住まい方」推進の市民講座の開催。 区内小学校を対象とした「いのち事業～いのちの音をみんなで聴こう～」の開催

実施結果 (Do)

上記取組内容に対する達成度	3	<ol style="list-style-type: none"> 1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った 					
取組内容の実績等	<ul style="list-style-type: none"> ・整理収納ガイドブックを2種類作成し、窓口や講習会で配布しました。 ・片付けコラムを月に1回多摩区役所のHPに掲載しました。 ・安心して暮らせる「住まいと住まい方」推進の市民講座を3回開催しました。 ・区内小学校を対象とした「いのち事業～いのちの音をみんなで聴こう～」を6校14コマ実施しました。 						
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1 成果指標	整理収納ガイドブックの作成及び配布数	目標	2			種類人
			実績	250			
	2 活動指標	片付けコラムの掲載	目標	12			回数
			実績	12			
3 活動指標	「住まいと住まい方」講座の開催数及び参加人数	目標	3			回数人	
		実績	3	100			
4 成果指標	「いのちの授業」実施回数及び参加児童数	目標	5	5		回数人	
		実績	8	409	386		

評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化	持ち物が多いなかで、限られた収納スペースを有効活用し片付けをしていく必要があるが、片付けに不安のある方やどうしたらよいかわからない方がいます。いのちある生き物であるペットの終生飼養や適正飼養について啓発していく必要があります。		
事業の見直し・改善内容	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 5 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)		
具体的見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	安心して暮らせる「住まいと住まい方」を推進するため事業(整理収納ガイドブックの作成及び配布、片付けコラムのHPへの掲載、「住まいと住まい方」講座の開催)を追加しました。		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	いのちの事業の実施後アンケートが好評です。また、片付けが苦手な方が一定数おり啓発活動のニーズは薄れていません。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	継続して実施している「いのちの授業」は9年間で区内小学校全校で実施することができました。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	他部署との役割、使用物品の選定、事業方法の変更などにより、経費削減の可能性があります。	

改善 (Action)

今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	令和5年度から実施している「片付け」や「住まいと住まい方」の講座については改善のうえ継続して実施していきます。動物愛護事業については他部署が行う事業との役割も考慮し見直しを行い事務改善に取り組んでいきます。

令和5年度 地域課題対応事業評価シート(多摩区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
58	05	35	26	15	35	たまたま子育てまつり開催事業			
担当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			711750		まちづくり推進部生涯学習支援課			坂東	内66910

事業の概要										
事業の概要		多摩区で安心して子育てができる地域の環境づくりと、生涯学習推進を目的として、子育て支援団体や市民グループおよび関係行政機関等との協力により、情報ひろば、親子で学び、遊べる機会、子育て相談、子育てサークルの活動紹介などの各種イベントや情報提供などの多彩な内容の子育てまつりを開催し、区民の交流できる場・学びの場を総合的に提供します。								
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		たまたま子育てまつり事業費				
地域の課題と現状		子育てを取り巻く環境は日々変化し、感染症対策によって人との交流が薄れ、多くの保護者が子育てについて心配や不安を抱いているという調査結果もあり、子育て支援団体や子育て支援関係機関が協働して開催するこの事業をきっかけに、子育て支援事業のPRや情報発信、及び、子育て世代の孤立化を防ぐための仲間づくりなど、地域が一体となった子育てしやすい環境づくりに取り組む必要があります。								
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度		
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
	事業費	450	314	432	387					
	財源内訳	国庫支出金								
		市債								
その他特財 一般財源		450	314	432	387					

計画 (Plan)	
事業の目的	子育て中の保護者や子育てに関心のある区民が、子育て情報を得たり、親子で学び、遊ぶ機会を通して仲間づくりの場を提供することで、多摩区で安心して子育てができるようにします。
今年度の事業の取組内容	区内在住・在勤の方々が中心となって立ち上げている実行委員会ではイベントの内容を協議、参加団体への説明などを行います。当日は、子育て情報の提供、親子参加の楽しいイベント実施、子育て支援団体等と子育て当事者及び一般参加者との交流を深めることを通じて、地域全体で子育てを支えていく環境づくりを行います。

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		2	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等		令和5年9月17日(日)「第21回たまたま子育てまつり」を開催しました。親子で学び、楽しむ会等を実施し、32団体が参加し、天候にも恵まれて昨年よりも大幅に多い約4,000人が来場されました。ホールイベントは、親子で楽しめるコンサートや、地域団体によるキッズダンス披露等を実施しました。また、地域の子育て情報をまとめたリーフレット3,000部を配布し、子育て世代へ向けて情報発信を行いました。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位	
	1	活動指標	子育て支援団体と一般市民とを結び催し物の開催	目標	1	1			回
				実績	1	1			
	2	活動指標	リーフレット「多摩区で子育て」発行回数	目標	1	1			回
				実績	1	1			
3	活動指標	催し物への参加団体数	目標	20	20			団体	
			実績	22	32				
4			目標						
			実績						

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		子育て環境の変化により、保護者の子育てへの不安や心配ごとは常に変化しています。情報過多により不安をあおられることもあり、子育て世帯と子育て支援者が実際につながる機会が求められていると考えます。	
事業の見直し・改善内容		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 4年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		実行委員会が主体的に運営し、知識や情報提供及び親子のコミュニケーションを図るだけではなく、保護者同士、支援者と保護者などが温かく、人と人が出会う催しとして見直しました。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	保護者の子育てに対する不安や心配は増加傾向のため、ニーズは高いと考えられます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	参加団体も増加し、実行委員も自信が付き、今後の主体的な活躍が期待できます。一般参加者からも多摩区に根付いた年中行事として認識されています。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性があるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	実行委員会と協議をして、より市民の主体的な活動となるような役割分担等の運営手法の見直しによる改善を継続して行っていきます。	

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	第21回の「たまたま子育てまつり」は実行委員会の様々な工夫と、子育て支援団体や市民グループ等の協働により、参加団体・来場者が増えましたが、さらに地域全体で子育てしやすい環境づくりを推進する事業とするため、運営手法等について引き続き見直しのうえ継続して開催します。

令和5年度 地域課題対応事業評価シート(多摩区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	07	26	15	60	多摩区こども・子育て情報収集・発信事業			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			715110		地域みまもり支援センター地域ケア推進課		岩脇	66806	

事業の概要

事業の概要		親の育児不安や孤独感を軽減を図り、区内で安心して子育てができるよう、年齢や状況によって変化する親・子どもの支援ニーズに応じて、窓口相談や支援制度、地域の子育て支援活動等子育てに係る基本的な情報を提供すると共に、育児負担を抱えるなど支援が必要な家庭と支援機関をつなげる機会の提供を行います。また、地域子育て情報を収集・発信することで、広範囲での地域の子ども・子育て活動の支援やコミュニティの活性化を推進します。							
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		たまっこを育てるまちづくり事業費	
		—		—					
地域の課題と現状		親の育児不安や孤独感を軽減するためには、ニーズに応じた子育て支援に係る多様な情報の提供が必要となります。求められる必要な情報をいかに必要とする人に届けられるかが課題です。							
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額		決算額		予算額		決算額	
		2,000		1,718		1,760		1,621	
		国庫支出金							
		市債							
財源内訳	その他特財								
	一般財源		2,000		1,760		1,621		

計画 (Plan)

事業の目的	子育ての不安や孤独感を軽減し、多摩区内で安心して子育てができるよう、地域の子育て支援に係る情報を収集・発信し、情報を必要とする人へ必要な情報を届けます。
今年度の事業の取組内容	(1)地域子育て情報収集・発信事業:「多摩区地域子育て情報BOOK」の作成、区ホームページ(多摩区こそだてweb)の更新、その他多媒体による情報発信 (2)子育て支援活動・事業等の広報物の作成・配布:「多摩区こども相談窓口案内」「多摩区子育て応援冊子(いっしょにあ・そ・ぼ!)」「思いっきり外遊び!」

実施結果 (Do)

上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり	4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った				
取組内容の実績等	<ul style="list-style-type: none"> 「多摩区地域子育て情報BOOK」の作成 ホームページ(多摩区こそだてweb)の全体更新(年1回) 子育てアプリ等による情報発信 「多摩区こども相談窓口案内」の作成 「多摩区子育て応援メッセージ(いっしょにあ・そ・ぼ!)」の作成 多摩区こどもの外遊び交流事業普及啓発リーフレット「思いっきり外遊び!」の作成 						
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1 活動指標	多摩区地域子育て情報BOOKの作成	目標 5,000 実績 5,500	5,000 4,000			冊
	2 活動指標	子育てアプリによる情報発信	目標 30 実績 35	30 33			件
	3 活動指標	多摩区こども相談窓口案内の作成	目標 9,200 実績 8,750	8,850 8,100			部
	4 活動指標	多摩区子育て応援メッセージの作成	目標 4,000 実績 4,000	4,000 4,000			冊

評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化	社会環境・労働環境等の変化に伴い子ども・子育て世帯にとって必要な支援が増え、複雑化しています。また、情報の収集・発信媒体も多様化しています。		
事業の見直し・改善内容	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 4 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)		
具体的見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	多摩区こどもの外遊び交流事業普及啓発リーフレット「思いっきり外遊び!」を作成する際に、2種類作成していたリーフレットを1種類に統合し、規格や内容について、見直しを行いました。		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	社会環境・労働環境等の変化に伴い子ども・子育て世帯にとって必要な支援は増えており、また、複雑化しています。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	母子手帳を発行する際などに子育て情報BOOKを配布し、広く地域の子育て支援に係る情報を提供しています。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性があるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	今後の情報収集・発信に更なる改善ができないか検討し、事務改善についても併せて検討していきます。	

改善 (Action)

今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	母子健康手帳交付時や転入の際に地域子育て情報BOOKを配布することにより、初めて子育てをする区民や、多摩区の子育て情報が分からない転入者へ適切に情報提供をしています。また、子育て支援活動・事業等の広報物の配布に加え、ホームページに情報をアップすることで情報発信媒体の多様性を図り、見直し・改善を検討しながら、手軽に子育て情報にアクセスすることができる環境を確保します。

令和5年度 地域課題対応事業評価シート(多摩区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	07	26	15	65	多摩区こども総合支援推進事業			
担当			所属コード	所属名		担当者	連絡先		
			715110	地域みまもり支援センター地域ケア推進課		深町	66804		

事業の概要									
事業の概要		(1) 子ども・子育て支援に係る団体や関係機関等と連携会議を開催し、子ども・子育て支援に必要な情報や課題の共有を行う。 (2) 連携会議等で抽出された課題を検討するため学習会や講演会等を実施する。 (3) 多摩区子育て支援パスポート事業を通じて、商店街連合会と連携した子育て世帯への声かけや見守りなどの支援を行う。 (4) 子ども・子育て支援者の養成を目的とした連続講座を開催する。 (5) 子どもや保護者を対象とした交流、体験の場として外遊びイベントを実施するとともに、外遊びに係る人材の育成や発掘をする。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		たまっ子を育てるまちづくり事業費			
地域の課題と現状		多摩区こども総合支援連携会議を開催し、子育て支援者同士が顔の見える関係をつくることで、情報や課題の共有が進み、地域の子育て支援の取組が活発になっています。一方で、地域における子育て支援の担い手不足などの課題が生じています。							
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	2,225	2,100	2,360	1,975				
	財源内訳								
	国庫支出金								
	市債								
	その他特財								
	一般財源	2,225	2,100	2,360	1,975				

計画 (Plan)	
事業の目的	地域の子育て関係者・関係機関で子ども・子育て支援に関する課題や情報を共有し連携することで、地域全体で子育て支援を推進していきます。子育て支援パスポート事業による商店街等地域での子どもの見守りや交流の促進、地域の子育て支援活動の担い手を増やすための人材育成、外遊びを通じた保護者や子どもへの学びや交流の場の提供を通じて、子どもや子育てにかかわる支援をしていきます。
今年度の事業の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> こども総合支援連携会議の開催 子ども・子育て支援講演会の開催 子育て支援パスポートの発行、協賛店ガイドの作成、ホームページやイベントの機会を利用した事業の広報 子育て支援者の養成講座の開催 外遊び交流に係る催しの実施

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度	3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり		4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った				
取組内容の実績等	<ul style="list-style-type: none"> こども総合支援連携会議の開催 子ども・子育て支援講演会の開催 子育て支援パスポートの発行、協賛店ガイドの作成、ホームページやイベントの機会を利用した事業の広報 子育て支援者の養成講座の開催 外遊び交流に係る催しの実施 								
数値で把握することが可能な取組	指標分類		指標		R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1	活動指標	連携会議の開催	目標	1	1			回
				実績	1	1			
	2	活動指標	外遊び交流に係る催し	目標	3	3			回
				実績	4	4			
3	活動指標	地域を対象とした普及啓発のための講演会等	目標	1	1			回	
			実績	1	1				
4	活動指標		目標						
			実績						

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化	平成29年度に実施した多摩区こども・子育て実態調査によると、保育園利用世帯が大幅に増加し、子育て環境が変化しています。また、子育てへの不安が多様化しており、地域の子育て支援によりきめ細かな対応が必要とされています。		
事業の見直し・改善内容	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 5 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)		
具体的見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	多摩区子育て支援パスポート事業において、令和4年度に今後の子育て支援パスポート事業の見直し・検討に向けた基礎資料とすることを目的として、アンケート調査を実施し、令和5年度に関係団体に結果を共有しました。		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	支援を必要とする子育て世帯が抱える課題は多様化・複雑化しており、地域の子育て支援を進める必要性は高いと考えます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	連携会議等を通じて情報共有が実施され、子育て関係者の連携が進んでいます。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	地域包括ケアシステムの取組と重複・関連する部分について、位置付けや役割の整理を進めています。	

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	会議や講座の運営手法などを見直し、事務手続きの効率化を図ります。

令和5年度 地域課題対応事業評価シート(多摩区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	07	26	15	70	子ども・子育て支援推進事業			
担当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			715000		地域みまもり支援センター保育所等・地域連携担当			小林	66833

事業の概要									
事業の概要		就学前の子どもとその親を対象として、親子が安心して遊び、遊びを通して様々な体験や仲間づくりができる場をつくとともに、育児不安軽減のために子育て情報の提供や、保育士、看護師、栄養士など専門職による育児の相談を行う。また、地域の住民とともに事業を推進することで住民の支援力向上と子育て支援を通しての地域づくりを図る。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		たまっ子を育てるまちづくり事業費			
		—	—						
地域の課題と現状		社会状況の変化により、人間関係の希薄化による育児の孤立化や育児不安が生じている。その状況を解消するため、保育士等の専門職だけでなく、主任児童委員、施設等と連携して、遊び、交流、相談の場を設け、支援を行っている。							
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	436	326	440	353				
	財源内訳	国庫支出金							
		市債							
	その他特財								
	一般財源	436	326	440	353				

計画 (Plan)	
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ●育児不安・孤立化の防止 ●区内施設を利用した子育て情報の提供、子育てネットワーク作り
今年度の事業の取組内容	感染症防止対策を図り、4、8月を除く毎月、区内3地区で「ママとあそぼうパパもね」を開催する。

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等		・区内3地区で、4・8・9月を除き、毎月1回開催しました。 ・コロナが5類感染症になったこと、5月～7月の申込状況(キャンセル待ちが多いこと)から、10月以降定員を増やし実施しました。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1 活動指標	地域子育て支援「ママと遊ぼうパパもね！」			目標 27	27			回
					実績 27	27			
	2				目標				
					実績				
3				目標					
				実績					
4				目標					
				実績					

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		転居等で地域を知らない子育て中の家庭、子どもをどこに遊びに連れていけばよいか分からない、子育てに不安を抱えるものの相談相手がいない、と感じている家庭がある。	
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載			
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	参加理由として、リフレッシュをあげている家庭が多い。子どもたちに、保育士による遊びを楽しませながら、保護者同士、またスタッフとの対話を楽しめるこの場合は、家に親子が二人きりであることの辛さの解消にもなっている	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	目標通り回数を実施し、1回あたりの参加人数が増加していることなどから、成果があったことが読み取れます。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	スキルを持つ地域のボランティア人材の発掘・活用等により、住民の子育て支援力の向上を引き続き進めます。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性		
地域の人材や同じ立場の子育て中の家庭と触れ合える機会は、孤独を感じがちな保護者にとって支えの場となっていると考えられる。地域の繋がりがづくりに一層力が入られるようにしながら、継続して実施していきたいと考えます。		

令和5年度 地域課題対応事業評価シート(多摩区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
58	05	35	26	15	80	地域子育て力向上事業			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			715130		地域みまもり支援センター地域支援課		小川	66815	

事業の概要									
事業の概要		地域の方々と共に子育て中の親子が気軽に集まれる場を開催し、集団遊びやグループワークを通して子育ての楽しさを伝えることで、育児の孤立化を防止し、育児不安感や負担感の軽減を図ります。各種健康診査・相談を実施するにあたり保育士を配置し、親子ともに安心、安全に受診および相談できる場を整備します。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		たまっ子を育てるまちづくり事業			
		—	—						
地域の課題と現状		核家族化、少子化、近隣関係の希薄さ等子育て世代を取り巻く環境の変化により、孤立化、育児力低下、育児不安や育児負担感を持つ親が増加しています。子育て中の親子が地域の支援者と共に集まる場や、安心して相談できる場が求められています。							
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	1,111	1,065	1,104	1,082				
	財源内訳								
	国庫支出金								
	市債								
	その他特財								
	一般財源	1,111	1,065	1,104	1,082				

計画 (Plan)	
事業の目的	育児の孤立化を防止し、安心安全に相談できることで、育児力の向上を図ります。
今年度の事業の取組内容	地域サロン、育児支援グループ、各種健康診査等での保育士による育児支援を実施します。

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等		●地域サロン2か所(長尾・長沢)を年間計15回開催。 ●各種健康診査(1歳6か月児・3歳児・産後健診)育児相談にて保育士を配置し育児を支援。 ●育児支援グループである多胎児対象のグループを年間11回、育児不安・育児負担感を抱える保護者のグループを年間12回実施。							
数値で把握することが可能な取組	指標			R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位	
	1	活動指標	地域サロン参加者(2か所)	目標 340	340				人
				実績 86	250				
	2	活動指標	各種健康診査・育児相談に保育士およびボランティアを配慮し育児支援	目標 101	88				回
				実績 101	88				
3	活動指標	育児支援グループ(2グループ)	目標 440	400				人	
			実績 395	256					
4			目標						
			実績						

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		核家族の増加や近隣との関係の希薄さにより、孤立した育児をしている親が増加しています。育児困難や児童虐待の予防のため、乳幼児期の早い段階から適切な育児情報の普及啓発を行い、子育て世帯の孤立を予防していく必要があります。	
事業の見直し・改善内容		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 5 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		感染症対策の緩和を行い、多くの親子に支援が行き渡るようにするために実施方法を見直しました。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	核家族の増加や近隣関係の希薄さによめ、今後も子育て世帯の孤立化が予測された地域課題は継続すると考えられます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	継続的な相談ニーズのある親子の参加も多くなり、孤立化を予防し育児負担を軽減しています。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	関係機関や子育て関連機関と情報共有を行い、効果的な役割や事務改善について進めています。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II 今後も母子保健事業として継続した支援が必要とされているため、事業の見直しを行い一部をこども未来局の予算での実施に変更していきます。今後も、子育て世帯が孤立せず、育児不安感が増大せずに子育てができるよう、育児支援が必要な親子を早期に把握し相談につながるよう支援していきます。

令和5年度 地域課題対応事業評価シート(多摩区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
58	05	35	26	20	05	多摩区地域包括ケアシステム推進事業			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			715110		地域みまもり支援センター地域ケア推進課		深町	66804	

事業の概要										
事業の概要		地域包括ケアシステムを構築し、誰もが住みなれた地域や自ら望む場所で安心して暮ら続けることができる地域を実現するため、広報・啓発や特性に応じた地域づくりなど様々な取組を複合的に進めます。								
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	地域福祉・健康のまちづくり事業費					
地域の課題と現状		住民の主体的な活動の活性化に向けて、統計情報など客観的なデータや地域活動の中から拾い上げられる情報を組み合わせて継続的な実態把握を行い、特徴に応じた地域づくりを考えていく必要があります。								
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度		
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
	財源内訳	事業費	3,923	3,696	3,747	3,319				
		国庫支出金								
		市債								
その他特財 一般財源		3,923	3,696	3,747	3,319					

計画 (Plan)	
事業の目的	地域包括ケアシステムを構築するため、地区を細分化して特徴に応じた取組を進めます。実態を把握するための基礎調査と、住民が主体的に地域課題を考えるための支援を行います。
今年度の事業の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 区内5地区における地域づくりの支援 認知症サポーター養成講座(学校・住民・職域向け)、中学生向け認知症講演会の実施 地域包括ケアシステム啓発用リーフレットの作成、活用 多摩区在宅療養推進協議会等と連携した「医療・介護の連携による包括的な在宅医療の提供」の普及啓発

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った								
取組内容の実績等	・5地区での地域づくりを推進。菅地区では、「地ケアつながりプロジェクト～TeamSUGE～」を開催(2回)、「中野島地区では、「中野島多世代つながり愛プロジェクト協議会」を開催(2回) ・川崎市多摩区地域包括ケアシステム広報誌「地ケアTAMA」の作成(年2回発行、各15,000部) ・認知症普及啓発のためのスライドを作成し、それを活用した中学生対象の認知症講演会、小学生、住民及び職域を対象とした認知症サポーター養成講座を開催 ・多摩区在宅療養推進協議会等と連携した在宅医療などの普及啓発									
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位		
	1	活動指標	小学校認知症サポーター養成講座、中学校認知症講演会の開催	目標	16	16			回	
				実績	17	15				
	2	活動指標	住民、職域向け認知症サポーター養成講座の開催	目標	8	8			回	
				実績	9	17				
3			目標							
			実績							
4			目標							
			実績							

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化	令和6年4月に策定された「第7期川崎市地域福祉計画」「第7期多摩区地域福祉計画」に即した取組の推進が必要です。平成31年3月に策定された「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」を踏まえ事業を展開する必要があります。		
事業の見直し・改善内容	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 5年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	地域包括ケアシステムの理解促進に向けた普及啓発の取組として、川崎市多摩区地域包括ケアシステム広報誌「地ケアTAMA」を作成し、配架先を拡大しました(年2回発行、各15,000部)。		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	超高齢化社会の到来に向けて、地域包括ケアシステムの必要性が高まっています。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	認知症啓発教材の活用により若年層への啓発が進んでいます。また、認知症をとおして、地域において温かい目で見守る心を育み、認知症の人やその家族が「安心して暮ら続ける多摩区」としての地域づくりの推進が出来たと考えます。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	地域の実情に応じて、委託の内容・役割分担等を検討していきます。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II

令和5年度 地域課題対応事業評価シート(多摩区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	07	26	20	15	パサーージュ・たま開催事業			
担当			所属コード	所属名		担当者	連絡先		
			715110	地域みまもり支援センター地域ケア推進課		岩脇	66806		

事業の概要									
事業の概要		多摩区内の障害者団体、生活支援や就労支援を行っている障害者施設及び作業所等が活動紹介、作品の展示販売、相談等の普及啓発活動を行う「パサーージュ・たま」を、多摩区役所1階アトリウムで年22回開催しています。また、より多くの方の障害への理解・関心を高めるため、参加団体やパサーージュ・たまの紹介動画を製作し、様々な広報媒体を活用して広報を行っています。さらに、作品が区民の目に触れる機会を確保するため、令和4年4月から本格実施している多摩区ソーシャルデザインセンター内での「パサーージュ・たま」出展団体の作品の常設展示・販売を引き続き実施します。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		地域福祉・健康のまちづくり事業費			
地域の課題と現状		同じ地域に住む区民と障害者がお互いに関心を持ち、理解し合うことは、充実した生活を送る上で重要ですが、障害福祉に関する普及啓発を行う場はごく限られています。「パサーージュ・たま」は定期的に当事者と区民が直接関わり合える場を提供しており、毎回多くの方が来場しているため、今後も継続的に開催し、普及啓発を行っていく必要があります。また、より多くの方の障害への理解・関心を高めるため、参加団体やパサーージュ・たまの紹介動画を製作し、パサーージュ・たま開催日や行政モニター等を通じて、広報を行います。多摩区ソーシャルデザインセンターでのパサーージュ・たま出展団体の作品の常設展示・販売についても、作品が区民の目に触れる機会の創出となっており、継続して行っています。							
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	1,068	1,038	931	644				
財源内訳	国庫支出金								
	市債								
	その他特財								
	一般財源	1,068	1,038	931	644				

計画 (Plan)	
事業の目的	多摩区内の障害者団体・施設、作業所等の普及啓発活動(活動紹介、作品の展示販売、相談等)を通じて、多くの区民に障害福祉への理解と関心を深めてもらうとともに、障害者が地域社会とのつながりを持つことを目的としています。
今年度の事業の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 「パサーージュ・たま」を年19回(8月を除く月2回)開催 参加団体の主体的な運営による運営委員会を年2回開催 広報誌を多摩区内各所で配布 市政だよりや区ホームページ、チラシ等の広報により、事業と開催日を周知し、広く区民に参加を呼びかける 参加団体の紹介動画の製作

実施結果 (Do)							
上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成	4. 目標を下回った				
		2. 目標を上回って達成	5. 目標を大きく下回った				
		3. ほぼ目標どおり					
取組内容の実績等	<ul style="list-style-type: none"> 多摩区役所1階アトリウムでの開催(年15回開催) アトリウムが使用できない期間、登戸駅南北自由通路で特別開催(9~11月、各月1回開催) パサーージュ・たま運営委員会を年2回開催 参加団体の紹介映像を令和6年3月に制作 						
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1 活動指標	「パサーージュ・たま」の開催	目標 22 実績 22	22 18			回
	2 活動指標	「パサーージュ・たま」運営委員会の開催	目標 2 実績 2	2 2			回
	3		目標 実績				
	4		目標 実績				

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化	障害者施設・作業所等が普及啓発活動を行う場所は限られているため、今後も開催を継続していく必要があると考えます。		
事業の見直し・改善内容	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 5 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施 (年度から)		
具体的見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	庁舎改修工事によりアトリウムが使用できない期間においても障害に関する普及啓発活動を継続するため、登戸駅南北自由通路を会場にパサーージュ・たまを開催しました。普段区役所を訪れない方にパサーージュ・たまを知ってもらった機会となったため、令和6年度も登戸駅南北自由通路で開催予定です。		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	障害福祉に関する普及啓発は、継続して行う必要があります。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	当事者にとって地域の住民と直接関わり合える貴重な機会であり、意欲と活力をもって参加しています。来庁者の評判も良く、定期的な開催が区民に定着しています。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	障害に関する理解と関心を区民に深めていくための情報発信や参加者の意欲をより高める工夫を検討します。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I 地域包括ケアシステムを構築する上で、地域の住民と障害者が互いに関心を持ち、理解し合うことは重要なことです。多くの区民が利用する総合庁舎1階のアトリウムで「パサーージュ・たま」を定期的に開催することは障害福祉に関する普及啓発の一環としても有効です。また、登戸駅南北自由通路など区役所以外で開催することで、より多くの方への普及啓発が可能となるため、アトリウム開催と並行して開催する必要があると考えられます。

令和5年度 地域課題対応事業評価シート(多摩区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	07	26	20	20	精神保健普及啓発事業			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			715250		地域みまもり支援センター高齢・障害課		清水	66662	

事業の概要

事業の概要		区の精神保健福祉活動における関係機関のネットワークの推進と地域における課題に取り組むとともに、地域住民に対し疾病予防や疾病の理解を深めるための講演会等を実施することでメンタルヘルスに関する普及啓発を行う。							
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		地域福祉・健康のまちづくり事業費	
		—		—					
地域の課題と現状		多摩区では精神障害者保健福祉手帳所持者や自立支援医療(精神通院医療)受給者が増加傾向にあり、川崎市7区内でも2番目に多い現状にあります。令和2年からのコロナ感染症の拡大による社会情勢の変化は、地域での生活に大きな不安を与え、相談に訪れる人が増えています。このような現状から、精神障害者及び支える家族や支援者の孤立を防ぎ、安心して生活するために、メンタルヘルスの普及啓発及び支援体制の構築が求められています。							
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	274	274	400	345				
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0			
		市債	0	0	0	0			
	その他特財	0	0	0	0				
	一般財源	274	274	400	345				

計画 (Plan)

事業の目的	精神障害者の自立と社会参加を促進するため、本来持っている力を発揮できるよう社会参加の機会を提供できる地域ネットワークの強化に取り組みます。また障害者本人及び家族が安心して地域での生活が送れることを目指します。
今年度の事業の取組内容	昨年度までは、講演会を実施し、精神保健福祉にかかわる普及啓発を行っていましたが、今年度はメンタルヘルスの予防、早期発見に取り組む活動を行うことにします。そのために中学生等に対象を絞り、メンタルヘルスに関するニーズ調査を行い、区内のメンタルヘルスのニーズを抽出します。

実施結果 (Do)

上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等	中学生等に対象を絞り、メンタルヘルスに関するニーズ調査を行う予定でしたが、調整の結果、実施規模を縮小しました。「若年層のメンタルヘルス(親子のメンタルヘルス—みんなで子育て—)」をテーマに講演会を実施しました。講演会に参加された方々に実施したニーズ調査の結果、若年層のメンタルヘルスに関心が寄せられていることがわかりました。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位	
	1	活動指標 多摩区精神保健福祉連絡会議(全体会議)	目標	4	4			回
			実績	4	4			
	2	活動指標 講演部会、広報部会	目標	8	8			回
			実績	8	8			
3	活動指標 講演会チラシ配布数	目標	10000	8000			枚	
		実績	10000	8000				
4	成果指標 講演会参加者数(含オンライン参加者数)	目標	100	60			人	
		実績	83	41				

評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化	自立支援医療(精神通院)受給者数から精神疾患を抱える方は、増加し続けています。社会環境の変化などにより精神不調を抱える方が増えていること、メンタルヘルス上の課題を有する方は潜在的にいることから早期発見早期治療につなげていくため、精神保健福祉に関する普及啓発は必要です。		
事業の見直し・改善内容	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から) 具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載 講演会を対面・オンライン併用で開催いたしました。オンライン開催を取り入れたことで、対面での参加が難しい方であって、講演テーマに興味のある方も含めて参加できるものとなりました。		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	高齢化または、発達障害等が知られてきたことで自立支援医療(精神通院)の受給者が増加する一方、社会環境の変化などからメンタルヘルス上の課題を有する方は潜在的にあり、精神保健福祉に関する普及啓発のニーズはより一層求められていると考えられます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	子育てに関することを講演テーマとして取り上げたこと、開催方法を対面・オンライン併用としたことで、会場に向くことが難しい子育て世帯等の方も参加する機会となりました。また、若年層のメンタルヘルスについて考える機会となりました。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	精神保健福祉連絡会議にて協議を重ねることで、地域のニーズに合った講演会を企画・開催できました。広く市民へ伝わるよう広報方法について、見直ししていく必要があります。	

改善 (Action)

今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	多摩区における精神保健福祉の課題抽出や、地域住民のニーズに合った効果的な普及啓発及びネットワークの推進について、精神保健福祉連絡会議が主体的に企画・立案・実行できるよう、行政として今後も情報提供と適正な予算の措置をしながら、見直し・改善のうえ継続することが適切と考えます。

令和5年度 地域課題対応事業評価シート(多摩区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	07	26	25	10	多摩区・3大学連携事業			
担当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			711650		まちづくり推進部企画課			小池	66122

事業の概要									
事業の概要		多摩区と区にゆかりのある3大学(専修大学・明治大学・日本女子大学)で構成する「多摩区・3大学連携協議会」(平成17年12月設立)の取組を通して、大学と地域の交流連携を図るとともに、地域の様々な課題の解決に向けて、大学の研究と連携した取組を実施します。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		市民自治を進めるまちづくり事業			
		平成17年度	—						
地域の課題と現状		27年度に実施したトップ懇談会の内容も踏まえながら、大学生の地域参加を促進する取組を展開していく必要があります。							
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	4,708	1,798	4,800	2,624				
	財源内訳								
	国庫支出金								
	市債								
	その他特財								
	一般財源	4,708	1,798	4,800	2,624				

計画 (Plan)	
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ●大学と地域の交流・連携の促進により、文教都市としての愛着と誇りを深めています。 ●大学の研究と連携した取組を実施することにより、区内のさまざまな地域課題の解決を図ります。
今年度の事業の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ●たまなびプログラムの実施、●大学・地域連携事業及び報告会の実施(専修・明治・日本女子)、●多摩区3大学コンサートの開催、●インターンシップの実施、●駅伝応援ブースの設置、●生田緑地エントランススポット維持管理

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等		・多摩SDCと連携したたまなびプログラムの実施、たまなびnewsの発行 ・2023多摩区3大学コンサートの開催 ・大学・地域連携事業の実施、報告会の実施 ・インターンシップの実施(各大学から2名ずつ、計6名を区役所等で受入) ・協議会3回、コンサート実行委員会2回、編集会議1回の計6回の会議をweb会議アプリを活用し開催							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位	
	1	活動指標	多摩区・3大学連携協議会、たまなびnews編集会議、コンサート実行委員会の開催数	目標	6	6			回
				実績	6	6			
	2	活動指標	多摩区・3大学コンサートの来場者数	目標	400	400			人
				実績	400	400			
	3	活動指標	大学・地域連携事業報告会の開催数	目標	1	1			回
実績				1	1				
4	活動指標	インターンシップの参加者数	目標	6	6			人	
			実績	6	6				

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		少子高齢化、人口減少社会の進展を踏まえ、若者が多く住んでいる区の強みを生かした取組が求められています。	
事業の見直し・改善内容		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 4 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		3大学の学生が多摩区を知り、学び、実践する連続プログラム「たまなび」について、令和4年度は初めて多摩SDCの取組に大学生が参加し、地域の人が楽しく交流できるイベントなどを開催した。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	少子高齢化、人口減少社会が進んでいく中で、大学生と地域住民の交流促進を図り、活発な連携が生まれる地域づくりが必要と考えられます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	たまなびの活動、大学地域連携などの取組や協議会による情報交換により、大学と地域間の交流・連携のすそ野は広がっており、一定の成果は上がっていると考えられます。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性があるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	事業内容の見直しにより、さらに効果的に大学生と地域の交流促進や大学生の地域参加の機会を提供することが可能と考えられます。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性 大学と地域間における人と情報の交流を一層促進し、地域住民と学生の学びを通して、学びのまちにふさわしい愛着と誇りのある地域づくりを推進していきます。 令和7年度の3大学連携協議会設立20周年記念に向けて、周年記念事業の実施を検討するとともに、さらに発展した事業展開につなげます。		

令和5年度 地域課題対応事業評価シート(多摩区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	07	26	25	20	地域コミュニティの活性化促進事業			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			711700		まちづくり推進部地域振興課		瀬戸	66352	

事業の概要

事業の概要		町内会・自治会の認知度の向上や重要性の認識を広めるため、町内会・自治会の活動を広く広報するとともに、町内会・自治会が抱える課題に資する講演会等を開催し、地域コミュニティの活性化を目指します。							
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		市民自治を進めるまちづくり事業費	
		—		—					
地域の課題と現状		地域コミュニティの活性化に大きな役割を担う各町内会・自治会では、地域のつながりの希薄化、町内会役員の高齢化、後継者難といった課題を抱えています。							
予算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	1246	902	1,150	737				
	財源内訳	国庫支出金							
		市債							
	その他特財								
	一般財源	1246	902	1,150	737				

計画 (Plan)

事業の目的	地域のつながりの希薄化、役員の後継者難といった各町内会・自治会の抱える課題を的確にとらえ、その解決に資する講演会の開催や、町内会・自治会活動の重要性を広報することにより、地域コミュニティの活性化を図ります。
今年度の事業の取組内容	1 町内会・自治会加入促進のための広報物(リーフレット)の作成 2 町内会・自治会の課題解決に向けた講演会等の開催

実施結果 (Do)

上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等	1 町内会・自治会加入促進のための広報物(リーフレット)の作成 2 町内会・自治会の課題解決に向けた講演会等の開催						
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1 活動指標	町内会・自治会活動のホームページ掲載	目標 1 実績 1	1			枠
	2 活動指標	町内会・自治会加入促進のためのリーフレット作成・配布	目標 2 実績 2	2	1		種類
	3 活動指標	町内会・自治会の課題解決に向けた講演会の開催	目標 1 実績 1	1	1		回
	4		目標 実績				

評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化	地域コミュニティの中枢である町内会自治会活動の継続には、担い手不足の解消や後任育成方法等について、息の長い支援が必要とされています。		
事業の見直し・改善内容	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 4 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)		
	具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載 例年、地区別の町内会・自治会の加入促進リーフレットを作成していましたが、視点を変えて子育て世代に特化したリーフレットを作成し、配布を行いました。		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	地域コミュニティの活性化の促進は地域でも強く求められており、継続して取り組んでいく必要があります。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	町内会・自治会が抱える課題解決に向けて、講演会(研修会)の開催やリーフレットを希望する声が上がっています。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性があるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	過去にホームページの更新作業の見直し等を行い、改善の必要のあるものについては現時点で対応済みです。	

改善 (Action)

今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I	今後の地域の活性化を担う若い世代をはじめとした家族単位での活動参加を促し、より温かな地域コミュニティの醸成を目指して、協議、検討を行っていきます。

令和5年度 地域課題対応事業評価シート(多摩区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	07	26	25	35	市民活動支援事業			
担当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			711700		まちづくり推進部地域振興課			三竹	66362

事業の概要

事業の概要		多摩区内の市民活動団体等が自主的・自立的に発展していくための支援を行う拠点として、多摩区役所及び生田出張所内に「多摩区民活動・交流センター」を設置し、活動の打合せや資料作成の場等を提供するとともに、同施設を活用した団体間の交流、相互支援を促進します。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		市民自治を進めるまちづくり事業費			
地域の課題と現状		施設運営を、利用登録団体で構成される運営委員会と区が協働で行い、適切な管理運営や利用団体間の交流について協議しながら取り組んでいます。充実した市民活動の支援拠点とするため、行政による側面的支援を行いながら、利用登録団体が持続的に運営していけるような仕組みを構築していく必要があります。また、市民活動・交流センターの交流事業を通じて団体間のネットワークづくりを推進し、市民活用をより活発にしていける必要があります。							
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	2,695	2,444	2,408	2,450	0	0	0	0
	財源内訳	国庫支出金							
		市債							
	その他特財								
	一般財源		2,695	2,444	2,408	2,450			

計画 (Plan)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> 運営委員会と協働しながら施設の管理運営と周知広報に取り組みます。 利用登録団体間の交流や相互支援関係を進めるための取組を推進します。
今年度の事業の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 運営委員会との協働による施設運営を通じ、市民活動を支援します。 全体会、施設利用説明会の開催等を通じ、施設の目的周知や利用団体の交流を図ります。 他団体との連携により市民活動のより一層の活性化を図ります。

実施結果 (Do)

上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等	年間を通じて運営委員会との協働による施設運営を通じ、市民活動を支援しました。新型コロナウイルス感染症が5類に移行した影響もあり、印刷機の印刷枚数が昨年度比で増加し、ほぼ目標値に戻っています。また、利用登録団体数も増加していることから、本事業が市民活動の支援につながっているものと考えています。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位	
	1 成果指標	利用登録団体数	目標	170	220			団体
			実績	220	235			
	2 成果指標	印刷機利用印刷枚数	目標	750,000	750,000			枚
			実績	663,673	733,232			
3		目標						
		実績						
4		目標						
		実績						

評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化		地域の課題解決の主体として市民活動の役割が増す中、市民活動の自主的・自立的な発展と、さらなる活動の活性化により市民同士が相互支援できる仕組みを構築するための拠点整備は市民自治の観点からも重要です。			
事業の見直し・改善内容		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 23 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)			
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		利用登録団体との協働による自主的な運営体制を構築し、利用団体が施設のあり方や利用方法等について協議できる場をつくりました。			
		評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか			a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	地域の課題解決に市民の主体的な活動が果たす役割は高まっており、その活動の場や団体のつながりもますます求められています。			
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか			a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	印刷枚数が2年連続で増加しており、また登録団体数も増えていることから、一定の成果はあがっているものと考えています。			
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか			a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	登録団体がより主体的に運営に携わるような仕組みづくりが必要と考えます。			

改善 (Action)

今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	より多くの団体に登録してもらい、また利用してもらいのように工夫を重ねていきたいと考えます。また、利用する市民団体の情報交換や交流の場としての機能を高める方法を検討していきます。また、他組織との連携等による市民活動のより一層の活性化についても検討していきます。

令和5年度 地域課題対応事業評価シート(多摩区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	07	26	25	40	多摩区公園案内事業			
担当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			716000		道路公園センター			堀川	76522

事業の概要									
事業の概要		公園が地域コミュニティの場となり、地域の活性化が促進されるとともに、利用者の利便性が向上するように公園の案内冊子を作成する。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		市民自治を進めるまちづくり事業費			
		平成23年度	—						
地域の課題と現状		高齢化の進展や子育て世代への支援策が求められる中、身近な地域に存在する公園をコミュニティの拠点として、より一層利活用していくことが求められています。							
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	783	773	825	548				
	財源内訳								
	国庫支出金								
	市債								
	その他特財								
	一般財源	783	773	825	548				

計画 (Plan)	
事業の目的	子育て世代をはじめとする区民に、利用者目線に立った公園情報を発信することにより、公園の利活用を促進します。
今年度の事業の取組内容	多摩区公園BOOK(第4版)の冊子を2,500部印刷製本し、関係部署窓口等で配布する。

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等		・多摩区公園BOOK(第4版)を2,500部発行し、多摩区役所及び生田出張所、道路公園センター等で配布を開始しました。 ・第3版から内容を充実し、139公園(第3版は121公園)を掲載するとともに、第6期多摩区区民会議からの提言を踏まえ、管理運営協議会の担い手を募集する記事を掲載しました。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1 成果指標	多摩区公園BOOK(第4版)の発行			目標	2,500			部
					実績	2,500			
	2 成果指標	多摩区公園BOOKへの掲載公園数			目標	139			箇所
					実績	139			
	3				目標				
					実績				
	4				目標				
					実績				

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		公園がこれまで以上に地域コミュニティの場となり、地域活性化が促進されることが求められています。	
事業の見直し・改善内容		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 令和 4 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		多摩区公園BOOK(第4版)の発行に当たり、掲載公園数の増など内容を充実しました。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	公園がこれまで以上に地域コミュニティの場となり、地域活性化が促進されることが求められています。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	前回の第3版から、内容を充実させました。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性があるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	公園の現地調査や原稿データの作成、冊子の印刷製本など事業に係る一連の業務を委託で実施しており、効率的・効果的に事業を推進していますが、掲載公園数など内容を一層充実する余地はあります。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
		初版以降、掲載公園数を増やし、内容の充実を図りながら冊子を作成しており、令和5年度に作成した第4版では、区内全164公園(※緑地を含む)のうち、139公園を掲載。令和7年度、第5版作成時には、登戸地区で新たに計画されている公園を含め、区内の公園を網羅的に掲載できる見込みであることから、第5版をもって「多摩区公園BOOK」の作成を完了することで、事業目的の達成を目指す。

令和5年度 地域課題対応事業評価シート(多摩区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	07	26	25	45	多摩区コミュニティ施策区域レベル取組推進事業			
担当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			711650		まちづくり推進部企画課			小西	66121

事業の概要									
事業の概要		「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」における区域レベルの取組を推進するため、地域で活動する団体等からの相談受付や活動支援に向けたコーディネート等を行うソーシャルデザインセンターについて、区民主体で効果的に運営するための支援を行い、市民創発による地域課題の解決に向けた取組を進めます。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	市民自治を進めるまちづくり事業費				
		令和2年度	—						
地域の課題と現状		「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」で掲げる希望のシナリオの実現に向け、多様な主体の連携により、市民創発による持続可能な暮らしやすい地域社会の実現が求められています。							
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	4,927	4,146	4,829	4,405				
	財源内訳								
	国庫支出金								
	市債								
	その他特財								
	一般財源	4,927	4,146	4,829	4,405				

計画 (Plan)	
事業の目的	「多摩区におけるソーシャルデザインセンターに関する協定」に基づき、多摩区ソーシャルデザインセンター運営組織に対し、施設使用、事業実施に係る運営費用の支援を行います。
今年度の事業の取組内容	運営組織に対して補助金を交付するとともに、令和4年度に実施した多摩区におけるソーシャルデザインセンターの取組に対する評価・検証結果を踏まえ、運営組織の主体的な取組に対する伴走支援(行政情報の提供、広報支援、組織体制の強化に係る支援等)を行います。

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等		協定に基づき、多摩区ソーシャルデザインセンター運営組織に対し、補助金の支出や運営組織の取組に対する伴走支援(行政情報の提供、広報支援、組織体制の強化に係る支援等)を行いました。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1	活動指標	多摩区ソーシャルデザインセンター事務所開所日数	目標	243	243			日
				実績	243	243			
	2	成果指標	地域活動への助成事業	目標	7	7			事業
				実績	5	7			
	3			目標					
				実績					
	4			目標					
実績									

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		超高齢化と人口減少社会の到来、地域コミュニティの希薄化といった暮らしを取り巻く環境変化を踏まえ、「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」を踏まえた取組を推進していく必要があります。	
事業の見直し・改善内容		■ 実施 (直近) 4 年度 □ 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直し履歴も記載できる場合は記載		多摩区におけるSDCに係るこれまでの取組について、地域デザイン会議での区民意見等を踏まえ、主に「多摩区におけるSDC開設案」で掲げる理念の実現にどれだけ寄与できたのかを評価した上で、令和5年度以降の取組や区の支援のあり方を示しました。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	運営組織による新たな事業の提案や取組が実施されています。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	地域活動に対する助成事業をはじめ運営組織による各種事業の実施結果から、一定の成果があったと考えられます。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性があるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	運営組織による主体的な運営に対して、より効果的な伴走支援を推進していきます。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」で掲げる希望のシナリオの実現には多摩区ソーシャルデザインセンター運営組織の継続的な活動が不可欠であり、令和5年度以降は第2期協定期間として、評価・検証結果を踏まえながら、より効果的な伴走支援を行っていきます。		

令和5年度 地域課題対応事業評価シート(多摩区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	07	26	25	50	生田地区コミュニティ推進事業			
担当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			713900		生田出張所			武田	76211

事業の概要									
事業の概要		生田地区のコミュニティ活動の活性化を目指して、令和6年度に地域利用を開始する現生田小学校下校庭に、樹木選定過程から地域と協働して行う100周年記念植樹に向けた取組を実施することで、地域に対する愛着心を醸成します。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		市民自治を進めるまちづくり事業			
		令和5年度	—						
地域の課題と現状		生田地区のコミュニティ活動を活性化するために、生田地域の実情に応じた拠点整備を行う必要があります。現在は令和6年度に地域利用を開始する現生田小学校下校庭を、地域に親しまれ活用される場となるように整備しています。							
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費			2,315		1,669			
		財源内訳	国庫支出金						
市債									
	その他特財								
	一般財源			2,315	1,669				

計画 (Plan)	
事業の目的	生田地区のコミュニティ拠点の整備を図ります。
今年度の事業の取組内容	100周年記念植樹に向け、地域の方と協働で樹種等を選定する検討会等を実施します。

実施結果 (Do)							
上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等	市制100周年を記念し植樹する樹木を選定するため、検討会を開催し、3つの案をまとめました。これらの案から、多摩区民投票を実施し、結果、総数821票の投票があり、獲得投票数の一番多かった「四季の彩に親しむ樹木」をテーマとする、ヤマザクラやイロハモミジなどの樹木に決定しました。						
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1	目標					
		実績					
	2	目標					
		実績					
	3	目標					
実績							
4	目標						
	実績						

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化	生田地区のコミュニティ活動を活性化するために、引き続き地域の実情やニーズに応じた取組が必要です。		
事業の見直し・改善内容	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載			
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	地域のニーズは様々であり、重要かつ拾えていないニーズが存在する可能性があります。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	
	評価の理由		
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	職員で行えるものは職員で行うなど、取組の手法について、創意工夫により経費削減等の可能性があります。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II 生田地区のコミュニティ活動の活性化を目指すために、引き続き地域の意見を踏まえ実施する必要があります。その手法について、費用対効果の高い方法を検討し、実施していきます。

令和5年度 地域課題対応事業評価シート(多摩区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	07	26	40	05	共通事務経費			
担当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			711650		まちづくり推進部企画課			平田	66123

事業の概要									
事業の概要		地域課題対応事業実施における各課共通で必要となる経費について、取りまとめて執行するものです。							
実施期間		事業開始年度 平成18年度		事業終了年度 —		予算中事業		地域課題対応事業その他事業	
地域の課題と現状									
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	1,658	1,398	2,035	1,287				
	財源内訳	国庫支出金							
	市債								
その他特財	1	0	1	0					
一般財源	1,657	1,398	2,035	1,287					

計画 (Plan)	
事業の目的	消耗品の一括購入による事務・経費削減
今年度の事業の取組内容	消耗品の一括購入による事務・経費削減

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度		3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った							
取組内容の実績等		地域課題対応事業の執行において、各事業所管課で共通に必要なとされる消耗品等を、適切に購入し経費の削減に努めました。								
数値で把握することが可能な取組		指標分類	指標			R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
		1	目標							
			実績							
		2	目標							
			実績							
3	目標									
	実績									
4	目標									
	実績									

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化			
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 <small>※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載</small>			
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	各地域課題対応事業の執行において、共通に必要なとされる物品等を適切に調達する必要があります。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	急な物品購入等への対応や社会情勢の変動に合わせて対応できたので、一定の効果はあったと考えられます。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	事業目的が消耗品の一括購入による事務・経費削減のため。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性 次年度も引き続き、各地域課題対応事業の執行において、共通に必要なとされる物品等を適切に調達します。また、一括購入に伴う経費の削減にも努めていきます。		

令和5年度 地域課題対応事業評価シート(多摩区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	07	26	45	05	窓口サービス改善推進事業			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			713300		区民サービス部区民課		中島	66242	

事業の概要									
事業の概要		分かりやすい案内表示や窓口対応等を実行し、区役所利用者の利便性と満足度の向上を図ります。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		区役所サービス向上事業			
		—	—						
地域の課題と現状		市民が求める質の高い窓口サービスの維持・向上を目的として事業が開始されました。現在では、区役所をあげての窓口サービス向上に資する取組となっています。							
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	373	208	250	43				
	財源内訳								
	国庫支出金								
	市債								
	その他特財								
	一般財源	373	208	250	43				

計画 (Plan)	
事業の目的	「区役所サービス向上委員会」を中心として各課が協力、市民サービスの向上を推進します。
今年度の事業の取組内容	新たな窓口広告付き受付・呼出システムの導入及び効果的な運用、区役所サービス向上研修への参加による区役所サービス向上のより一層の推進

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等		・令和5年5月の窓口広告付き受付・呼出システムの新協定締結に際し、従来の区民課に加え保険年金課への導入を実施 ・区役所サービス向上委員会を令和5年5月と令和5年12月に開催 ・令和5年10月に接遇研修を開催、令和5年9月に市内4会場で開催されたサービス向上研修に参加							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位	
	1	活動指標	「区役所サービス向上委員会」の開催	目標	2	2			回
				実績	2	2			
	2	活動指標	「区役所サービス向上委員会ワーキンググループ」の開催	目標	3	3			回
				実績	3	8			
3	活動指標	接遇研修・サービス向上研修の開催	目標	3	3			回	
			実績	2	2				
4	活動指標	多摩区役所利用者のサービス満足度	目標	-	99.0以上			%	
			実績		100				

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		本市では「川崎市DXプラン」に基づき、デジタル技術を活用した市民サービスの向上等を目指しており、市民サービスそのものである区役所窓口では、デジタル化によるサービスの質の向上、職員の業務効率化等が求められています。一方で、デジタル化に不慣れな方も各種手続きがスムーズに行える仕組みづくりも必要とされています。	
事業の見直し・改善内容		■ 実施 (直近) 5 年度 ■ 今後実施(令和6年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		令和5年度の窓口広告付き番号発券システムの更新に際し、従来から導入済みの区民課に加え、新たに保険年金課へ導入し窓口サービス向上に資する環境整備を行いました。また、令和6年10月実施予定の「おくやみコーナー」の開設により、市民サービスの向上に寄与します。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	市民のニーズは多様化の傾向もあり、社会環境の変化等を踏まえた窓口サービスを提供するという取組は引き続き必要です。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	実施結果の検証を踏まえつつ、継続した取組が必要です。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	令和6年10月に予定している、死亡に係る各種手続きについて御遺族に寄り添い必要な手続きの相談や案内、申請書等の作成支援を行う「おくやみコーナー」の開設など、所管の枠を超えた取組が必要と考えます。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性		
頻繁に発生する法制度改正や多様な市民ニーズに的確に対応するには、継続的な取組が必要です。令和6年度は、死亡に係る各種手続きを所管する担当課のメンバーによるワーキンググループでの検討を通じ、「おくやみコーナー」開設による窓口サービスの改善・向上を図りながら事業を継続します。		

令和5年度 地域課題対応事業評価シート(多摩区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	07	26	50	05	区の新たな課題即応事業			
担当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			711650		まちづくり推進部企画課			平田	66123

事業の概要									
事業の概要		年度途中に発生した区内の新たな課題について、区長の権限で適切かつ迅速に対応するための事業です。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		区の新たな課題即応事業			
		平成18年度	—						
地域の課題と現状		年度途中に発生した区内の新たな課題について、適切かつ迅速に対応する必要があります。							
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	5,000	2,574	5,000	3,926				
	財源内訳	国庫支出金							
		市債							
		その他特財							
		一般財源	5,000	2,574	5,000	3,926			

計画 (Plan)	
事業の目的	年度途中に発生した区内の新たな課題について、区長の権限で適切かつ迅速に対応するための事業です。
今年度の事業の取組内容	・使用手続きのフローの作成及び庁内への周知徹底 ・各課からの依頼に対する迅速な対応

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり		4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った			
取組内容の実績等		区の緊急性・必要性の高い課題について、事業実施所管課と連携及び調整により対応しました。(児童家庭課及び衛生課窓口番号表示システムの設置業務、向ヶ丘遊園駅周辺案内サイン盤面更新事業、生田出張所環境整備事業、公園の維持管理のためのおたすけハンドブック【事例集】冊子作製、多摩区における川崎市市制100周年及び全国都市緑化かわさきフェア普及啓発グッズデザイン・製作業務、多摩区危機管理事業、主要地方道世田谷町田線目隠し板落書き消し及び塗布工事)							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1	活動指標	年度途中に各課から区の新たな課題即応事業費の使用依頼があり執行した件数	目標	3	3			件
				実績	4	7			
	2			目標					
				実績					
	3			目標					
				実績					
	4			目標					
実績									

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化			
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載			
評価項目			評価
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	年度途中に発生する区内の新たな課題について、対応する緊急経費です。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	新たに発生した課題に対して、迅速に対応することができました。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	区の新たな課題の把握や解決に向けた取組に関する関係所管課との調整を迅速に行えるよう、改善を進めていきます。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性		
区の新たな課題の把握や解決に向けた取組に関する関係所管課との調整を迅速に行い、適切に経費執行していきます。		